R18漫画
90P
#中出し
#デカ乳
#生ハメ
いっぱいでたね♡
…ッ
ズニッ
ズニッ

「私の身体好きに使っていいですよ..」の続きになります！
シリーズを読んでいなくても大丈夫！

■お兄さん
節操がない。
無限の精力をもつハゲ。

← いっぱいSEXするよ～!!
せっそうねえ!!

■種沢まもり（姉）
彼女、最近あっていなかった久しぶりに会う。たのしみ♪
お兄さんが好き。ななみが好き。

← 最近おっぱい大きくなった♡
何カップになったでしょう～～!?

■種沢ななみ（妹）
妹、お姉ちゃんのことが好き。
お姉ちゃんに手を出させないように体を張って
お兄さんの相手をしてきた。最近お兄さんに思うことあり

← 体がムチムチになってきた♡
えぐいオナニーをするよっ♡

ざっっくり!!

前回までのあらすじ

主人公は、海でナンパされていたところを助けたことを
きっかけに、"種沢まもり(茶髪の子)"と付き合い始め
セックスライフを送っていた。

↓

しかしある日、まもりが突然実家に帰ってしまい、
寂しさを感じていた主人公のもとに
まもりの妹"種沢ななみ(黒髪の子)"が現れる。

↓

妹とも肉体関係を持ってしまった主人公は
その後も妹との関係を続けながら
姉に会うため妹と一緒に実家へ向かう。

↓

姉の帰宅を待つ中、ムラムラが抑えられなくなった主人公は
妹の部屋で妹と再びセックスしてしまう。

⇓

そして――その最中に、姉が帰ってきてしまう…

ヤバイ!!

ハッ
ハッ
ハッ

ただいま～
あー疲れた
久しぶりに学校行ったら…
種沢さんだ
相変わらずでけぇ
ねぇねぇ
何してたの
彼氏できたって
聞いたけど
えっ
ワイ
ワイ
みんな帰してくれ
ないんだもんな～
もしかして…
ピクッ
バタバタ

ガチャ
やっ
久しぶり
お兄さん！！！
もー来てるなら連絡してよ
早く帰ってくるから
パァァァァ
それよりなんで
私の部屋に勝手に入ってるの
ギクッ
ちょっと前
い、いやー…
はやく
はやく
はやく
はやく
ななみっいや妹さんが
お姉ちゃんの部屋で
お待ちになって♥
って…
そうなんだ
私がそんなこと
言うわけないでしょ…ッ！
イラッ
イラッ
イラッ
イラッ
かべー
お兄さん
なんか汗だくだくだけど…
あはは
いや暑くて

それで…さ
アッ
アッ
アッ
アッ
…お兄さん溜まってない？
うず
プニ
うず
うず
うず
うず
うず
え

私はほら…
お兄さんと
久しぶりに会えて
こんなにドキドキ
してるんだよ
ビクッ
フーッ
フーッ
フーッ
ゾクッ
ゾクッ
柔らかっ
むにっ
えっ、ちょっと
大きくなった？
ムニッ
えへへ
分かるんだ…
ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ
ヒソ
Iカップに
なったんだ
ヒソ

で、でも
そろそろ
バッ
お母さん
帰ってくるんじゃ…
隣にななみちゃん
もいるし…
お母さん外で
夜ご飯食べてくるって
言ってたし…
うる
うる
私とエッチ
したくないの…？
お兄さんはっ…
ななみもいつも
スマホゲーム
イヤホンつけてるから
こっちの声
聞こえなくなるから大丈夫
したい…です
素直でよし♡

ほぉら♡
おちんちんだして～
あれいつもより
綺麗じゃん
あはは
お兄さん
ちゃんと洗ってた？
も～お兄さんのくっさいチンカス
チロチロ舐めるの好きだったのになぁ～
ジ～ッ
もわぁ
ぴちゃぴちゃ♡
お兄さんのちんぽ♡

やわらかい唇が亀頭に…ッ
ビクッ
ちゅ
ぴとぉ
うッ…舌がちんこと皮の間を
かりの部分をそんなッ
ビクッ
ビクッ
レロ〜ッ
んっぐ…
ハァ
ハァ
ハァ
ピュッ
チュッ
ハァ
ハァ
ぴゅ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ほら準備万端♥
むわぁ

ちゅちゅちゅ
ちゅるるる…
ちゅぱぁ
ちゅぷ…
ぐぽぐぽ
ぐぽ
ぐぽ

ずるッずぽッ
ずるずぽ♡
ぢゅぽ
ぢゅぽッ
ぢゅるッ
ふぅ…
ちゅるるッ
にゅるる
んッあ
あ…ッあ
ぢゅるるッ
ぢゅるるっ
うぅうッ
は…ぁ
んおっ…ッ
チロッチロチロ
あああッ
おちんぽ♥おちんぽ♥おちんぽ♥

や、やばっ
ずぽずぽ
じゅぽっじゅぽっ
んんッ
じゅるるるるるッ
んッ
は…ぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ふぅ…
はぁ〜
だひふぎだよ…♡
もーおにいさん
ぴゅ
ぴゅ
ぴゅ
ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ

ほらお兄さん
本番しよ♡
フーッ
フーッ
フーッ
フーッ
フーッ
ペロッ
ほらいくよ
ドン♡
わっ
さ、流石に
隣の妹さんにバレ…
ズン…♡
お兄さんの
久しぶりのおちんちん…♡
じゃあほらほら♡
入れていくよ～♡
ゆーっくり♡
ゆーっくり♡
あいかわらず
お兄さん
私が積極的にいかないと
ダメなんだから
はぁ
はぁ
はぁ

おちんぽ♥おちんぽ♥
おちんぽ♥おちんぽ♥
おちんぽ♥おちんぽ♥
おちんぽ♥おちんぽ♥
んっ入ってきた…♡
さきっぽおちんちん♡
ぬぷぷぷぷ♡
ぐぐぐ
ぐりぐり
入った♥
どうですか私の久しぶり子宮♥気持ちいいですか？♥
おちんちん見えなくなっちゃったね♥
ビクッビクッビクッ

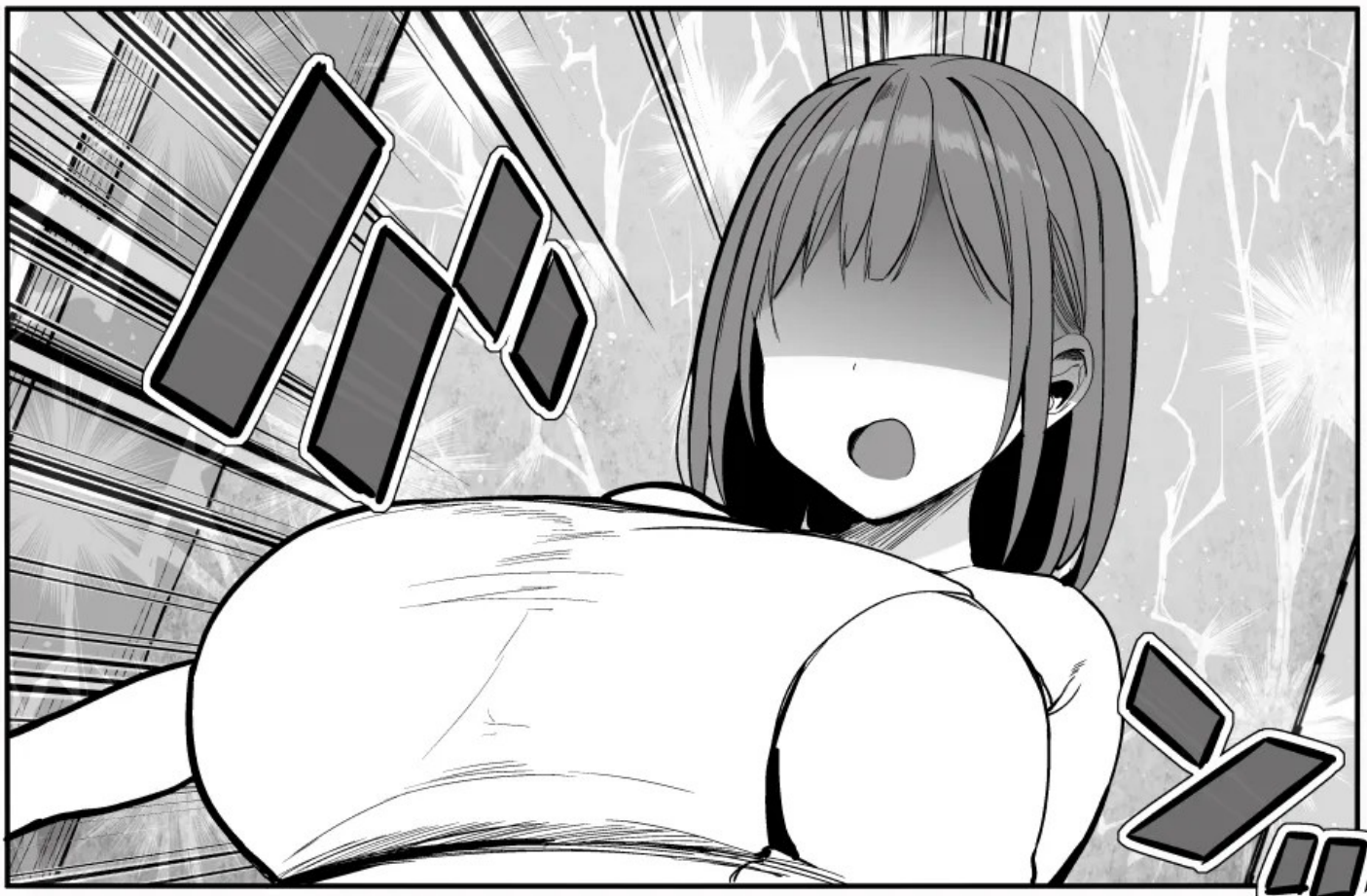
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
くちゅ
くちゅ
フーッ
フーッ
フーッ
んっ
ヘッ
ヘッ
ヘッ
ヘッ
ビクッ
ビクッ
ビク

ダメだこの感情
どうにかしないと…
むちっ
トロ
確かベットの
下に…
これで
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
ドキ
ドキ
ドキ

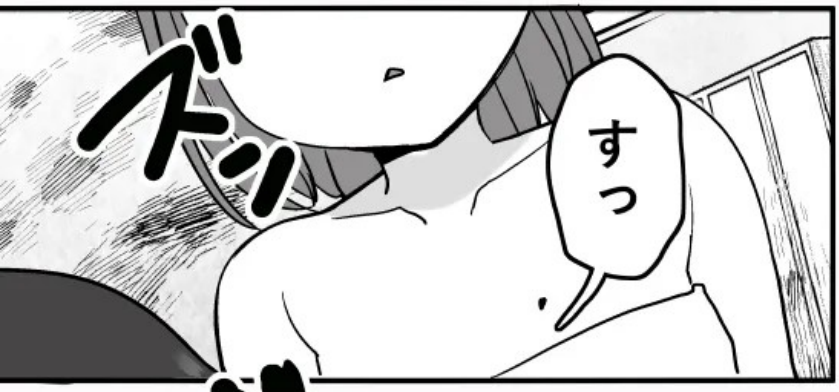
こんな体勢かな
んっよいしょ
ディルド使うの久しぶり…
お姉ちゃんも今…
んッこんな風に
お兄さんのおちんちんで
エッチしてるの…かなッ
ゆっくり…ゆっくり…

ドンッ
びくっ!!
ガバッ
ドキ
ぎゅんっ
ドキ
ドキ
ドキ

ぐぷっ
ずぷっ
ずちゅ♡
ずぷっ
ずぷっ
ずちゅ♡
あっお兄さん♡
お兄さんお兄さん♡
んんっっ
いっくッ
んっ
あ♡
あ♡
ビクッ
ビクッ
ブボッ
グッッ♡
ズッ



あせ
お、お姉ちゃん
あせ
あせ
こ、これは…
ああ、あのですね


ズン
すっ

ズン
すみません…

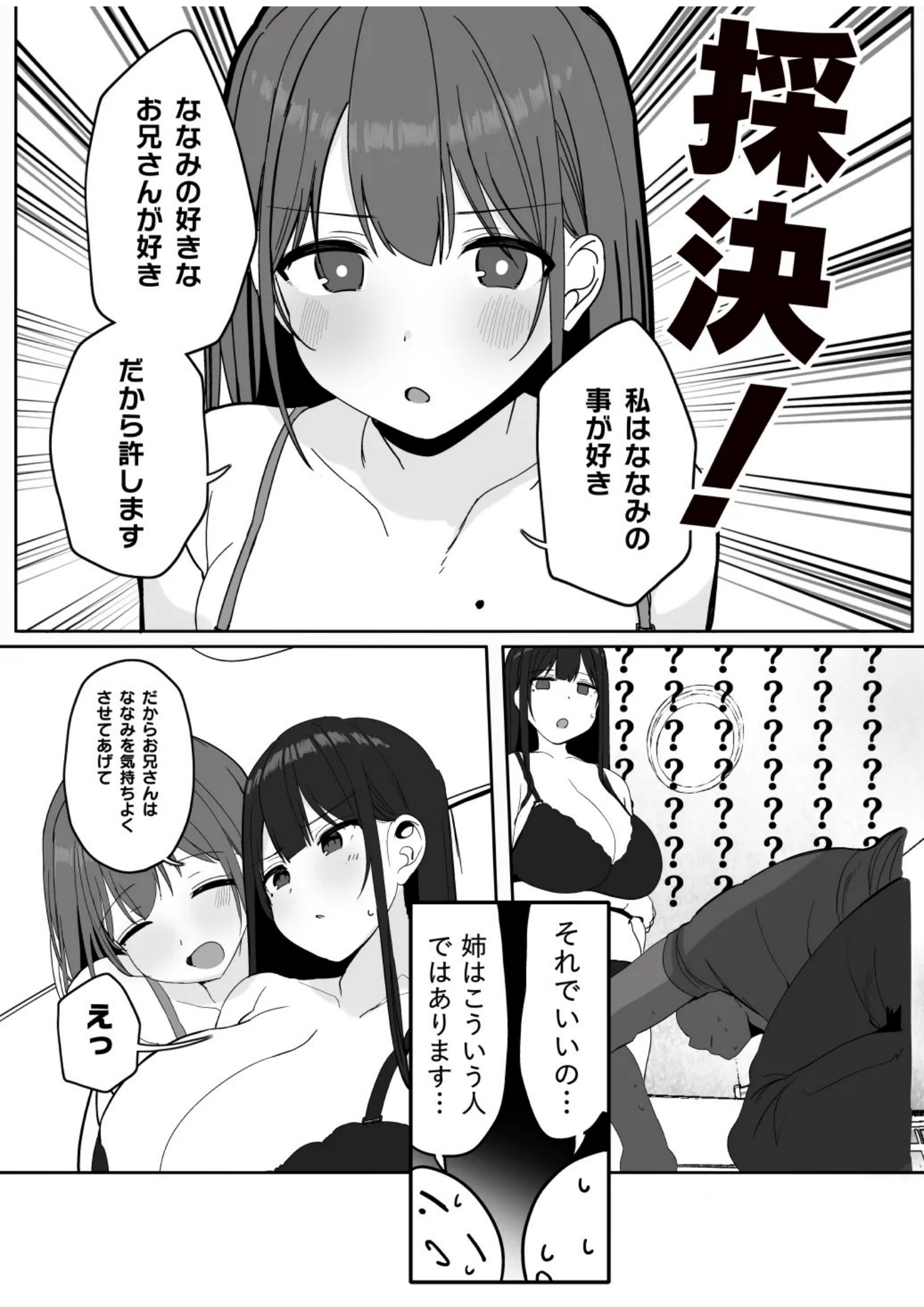
もーななみも
お兄さんと
えっちしたかったの？
ニコッ
えっ

ななみお兄さんと
えっちしてるでしょ
やあの…
ごまかさなくても
いいの！

2人とも仲良さ
そうだったし
それにお兄さんから
すごいななみの香りが
してんだよね
ななみっ…
いや妹さんが…

ななみも
こっち来るっ
ぐぃぐぃ
え、あえ？

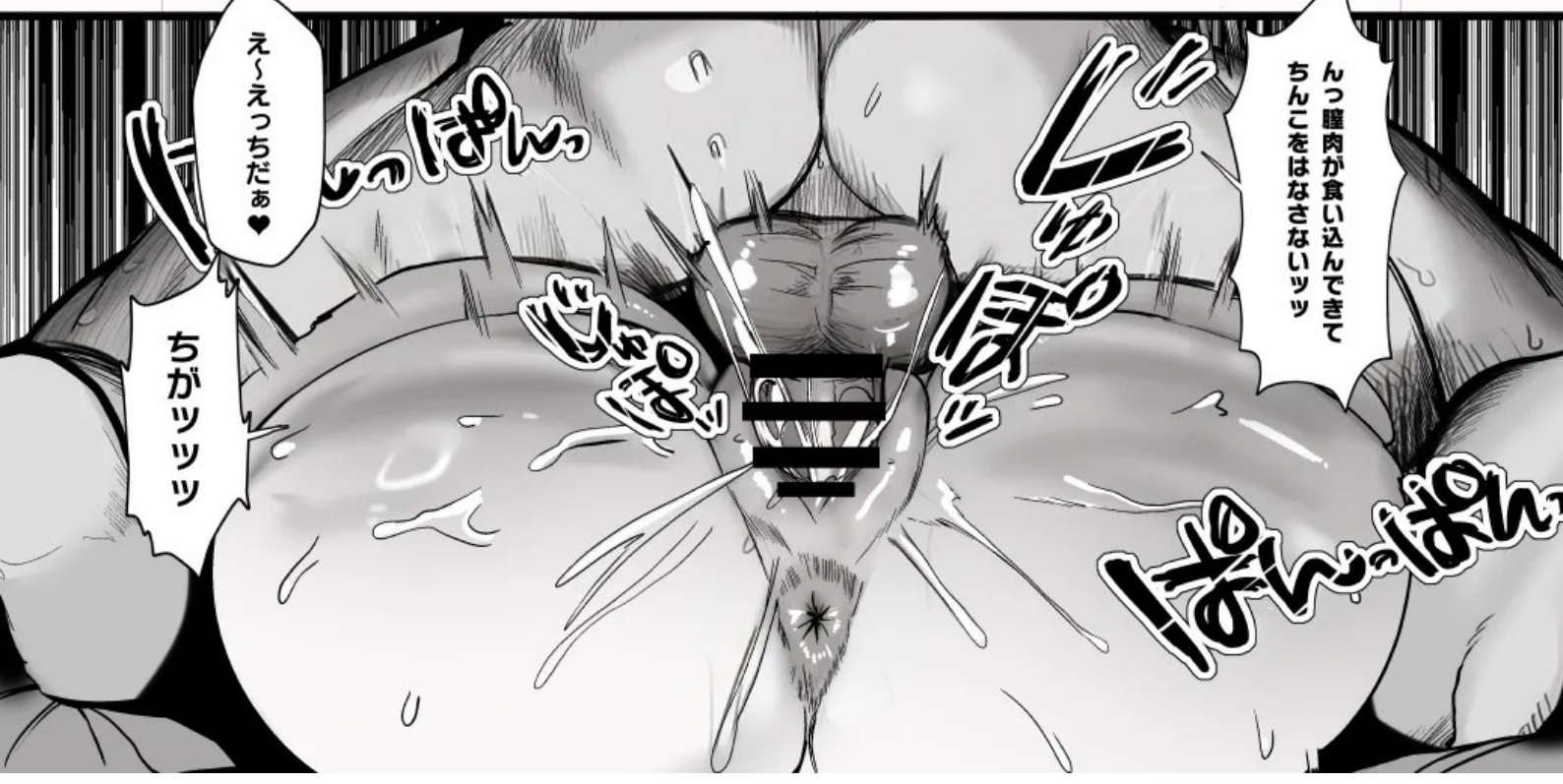
土下座
お兄さんなんで
ななみとのこと
隠してたの？
下着っけた
す、すいません…
だらだら
お姉ちゃん
怒ってますよね…
あたりまえでしょ！
でもね
ななみの気持ちも
尊重してあげたいんだ
私ななみの事も
大好きだから…
ななみはお兄さんが
好きなんだよね
ま、まあ…
まぁ～？


採決！
私はななみの事が好き
ななみの好きなお兄さんが好き
だから許します
？？？

フッ♡
可哀想だよ♥
本物のおちんぽが
隣にあるのに
ひとりでオナニーして
フッ♡
フッ♡
ほらななみの
おまんこ♥
こーんなに
ぐちょぐちょ♥
フッ♡
れろっ♡
ひっ♡
ひっ♡
お、お姉ちゃん…っ
ぬちゃ
ぬち♡
ぐちゅ♡
ぐちゅちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡

姉妹同時に
このデカ乳をわしづかみ
できる日が来るとは…
んっお兄さん
ほんとにおっぱい
大好きだよね♥
あ、あのいれるなら
はやく
ななみエッチだね…♥
ガシッ
ち、ちがいます
お姉ちゃんが
じゃあ早速
重てぇ…
ぎゅうう
ほんとだ…
ぐちゅぐちゅで
一気に入ったぁ…
ビクッ
ビクッ
んッ
ずぷっ
ぎゅうう

ななみ凄い顔…
はじめてみたよ
お姉ちゃん…♥
やッッ見ないで…ッ
お兄さんもななみも
気持ちよさそ～
ななみのまんこどう？


んっ膣肉が食い込んできて
ちんこをはなさないッッ
え～えっちだぁ♥
ちがッッッ

も、もうでる…
わ♥はやい
気持ちよかったんだね♥
中にだすッ
やっ中はダメッ…
頭が変に…
ハァ
ハァ
ハァ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ

こ、こんな下品な服…
じゃーん
どうかな…♥
ビキニが食い込んで
まったく…んっ
ほらちんこまた
バキバキになりましたか？
えっちなギャルが
ぬきぬきしてあげるからね～
お兄さん興奮してる～
コスプレ大好きだもんね♥

んっ…♡
ほらはやくつぎの
精子作って下さい…
ちゅぱ
ちろちろちろ…♡
れろっ♡
れろれろ
れろっ♡
ぶにゅ
ぶにゅっ
お兄さんのとりえは
そこじゃないですか
くちゅっ♡
くちゅっ♡
もーなみったら
そんなにお兄さんの
おちんちん好きなの？
ち、違います…
まんこっ♡
じれぇ
違いますから…♡
ちゅぱ
じゃつぎはわたしの番ね♡

んっ♥
入った…♥
こうするの
好きなんでしょ…？
今日はいっぱい
イかせてあげる♥
もう、お兄さん
可愛いんだから…♥
はっはげしっ
じ～～～っ
奥まで届いてる♥
気持ちいい？
じゃあ、もっと
激しくしちゃうね♥
クソ…気持ち
よすぎるッッ

ねぇ、こっち見て…
気持ちよすぎて♥
おかしく
なっちゃってる顔♥
おちんちん
ぐちゅぐちゅって
音立てて…
ぐりぃ♥
いッイク！
もう我慢できないの？
もっと奥っ…
んっ♡突き上げて…！
ビクッ
ビクッ
ぐりぃ♥
ぐぃ♥
一緒に気持ちよくなろ？
せーのっ♥
あん♡
ドピュッ
ビュッ
ビュッ
ビ

気持ちよかったね
お兄さん…♥
ゾクゾク
ゾクゾク
ハァ♥
ハァ♥
おちんぽ♥おちんぽ♥お
おちんぽ♥おちんぽ♥おち
ぽ♥おちんぽ♥おちんぽ♥お
ぽ♥おちんぽ♥おちんぽ♥お
おちんぽ♥おちんぽ♥おち
とくとく
とくとく
とくとく
ぎゅ
ビュ

じゃぁ
次いくよ
っ……顔
近い…
っ……はあ…
やだ…そこ…
奥まで…ッ
ほんと
口は悪いけどっ
まんこの締まりは正直だなっ
そんな気持ち
よさそうな顔して
別に…気持ちよく
なんて…ってない…
嘘つく…

おぼ
パンッ
パンッ
ちょっ
ちょっ
なッッ
……っ
はっ…っ
ボンッ
ボンッ
おっ
ぱっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱっ
ぱっ
おっ
おっ
お

イッグ
ブッお
ドクッドクッ
ドクッドクッ

ハァ
ハァ
ハァ
いっぱい
ぴゅっぴゅっしたね♥
こんなに
中だしして…
お兄さん

翌日
ザザ…
久しぶりの海だ～
晴れて良かったね
お兄さん♪
あぁ
まぁまぁ
はぁ私こういう場所
苦手なんですよね…
そうそう
この海でお兄さんと
出会ったんだよ
…
そうなんですか

でほら
こっちこっち
？
♪～
ほんとだ
誰もいないですね
でしょ～～
岩陰になってるから
ちょうどいいんだよね
もじ
もじ
もじ
もじ
ここ穴場なんだよ～
この前来た時
みつけたの
ちょうどいい？

じゃーんどうかな
この水着…♥
大事なところ
丸見えなんだよ♥
もわぁ
お兄さん…♥

ここのビーチ
あんまり
ひとこないんだよね～
こっちこっち♥

こ、ここなら
誰も来ないんですよね…
岩陰になってるし
もじ
もじ
こんな下品な水着
ほんとに最低…
フーッ
フーッ
そんなジロジロ
みないでください…
もわ♡
♡♡あ

このデカ乳でパイズリしてよ
もーしょうがないなお兄さんは♡
ちょお兄さん力強い…ッ
じゃななみ一緒にやろうよ♡
わかりました

じゃあ、いくよっ♡
お兄さん気持ちよくなってね♡
変な勘違いは
しないでください
まもり姉さんが
どうしてもって言うから
お手伝いするだけです。
も～、ななみも素直じゃないなぁ♡
でも…こうやって一緒にって
ちょっとエッチでドキドキだね♡
…さっさと
終わらせましょう
みっちぃ
むちっ♡
むちっ♡
むおぉぉ
おぉぉぉ♡

ふふっ♡ すっごい
ぬるぬるしてる♡
うおッ
ほら、おっぱいとおちんちん
がズチュズチュ言ってる♡
パイズリ重たくて
疲れるんですよね…ッッ
ねぇねぇ、ななみも
楽しくなってきたんじゃない？♡
ズッチ♡
ズッチ♡
これは…
あくまで作業ですので
もっと擦って
あげなきゃ♡
ふう…では、
もう少しだけ強めに…ッ
それでも…ほら♡
お兄さんもうビクビクしてきてるよ？
んっ…
疲れる…
ずりゃ
ずりゃ
ずりゃ
ずりゃ
バチンッ
バチュンッ

じゃお兄さん
独占しちゃお～♡
ムラムラ♡
ムラムラ♡
ムラムラ♡
ムラムラ♡
ムラムラ♡
ムラムラ♡
ムラ
ムラ
ムラ
……ッ
だぷっ
だぷっ
ずりゅ
ずりゅ
バチンッ
ぱぱっ
お兄さんまもりの
おっぱいだけで
気持ちよくなってね♡
ありがとうございます
大丈夫ですので
姉さんは
休憩していてください
ずりゅ
ずりゅ♡
ぽんっ
ぽんっ
ぶるるんっ
むぅ
むぅぁ…
ちょ、ななみ
本気すぎでしょ～っ♡
お兄さんイッちゃうってば♡
そのつもりですので
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ
たんっ

ぬっちゃ
おっ
むにっ
ぬっちゃ
もうでるッ
ほらさっさと
だしてください…
んっこれななみの
乳首とお兄さんのちんこが
あたって…♡
うっ
はぁ
はぁ
はぁ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
ぐにっ
はやっうっ…
あいかわらず
くさッ
わってた♥
お兄さん射精
上手上手♡
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ
どぱぁ

こんなの中に着てたからもじもじしてたのか
お前が着たかったんだろ
そ、そんなわけ
でもこんなにまんこしめて…
…姉が着ろってッッ
そそれはぁッッ
ななみ着たかったんだもんね♥
ちがッ

おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
…っあ
そ…こは
ダメ…です…っ
パ
パーン
パーン
パーン
ぱちゅん♡
パチュ♡
ブチュ
パチュッ
ぱちゅん♡
ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ
うっ
ん…ふうっ…
お、奥…
ついてます…
おっ♡
とちゅ♡
つやだ…う
ゾクゾクゾクっ♡

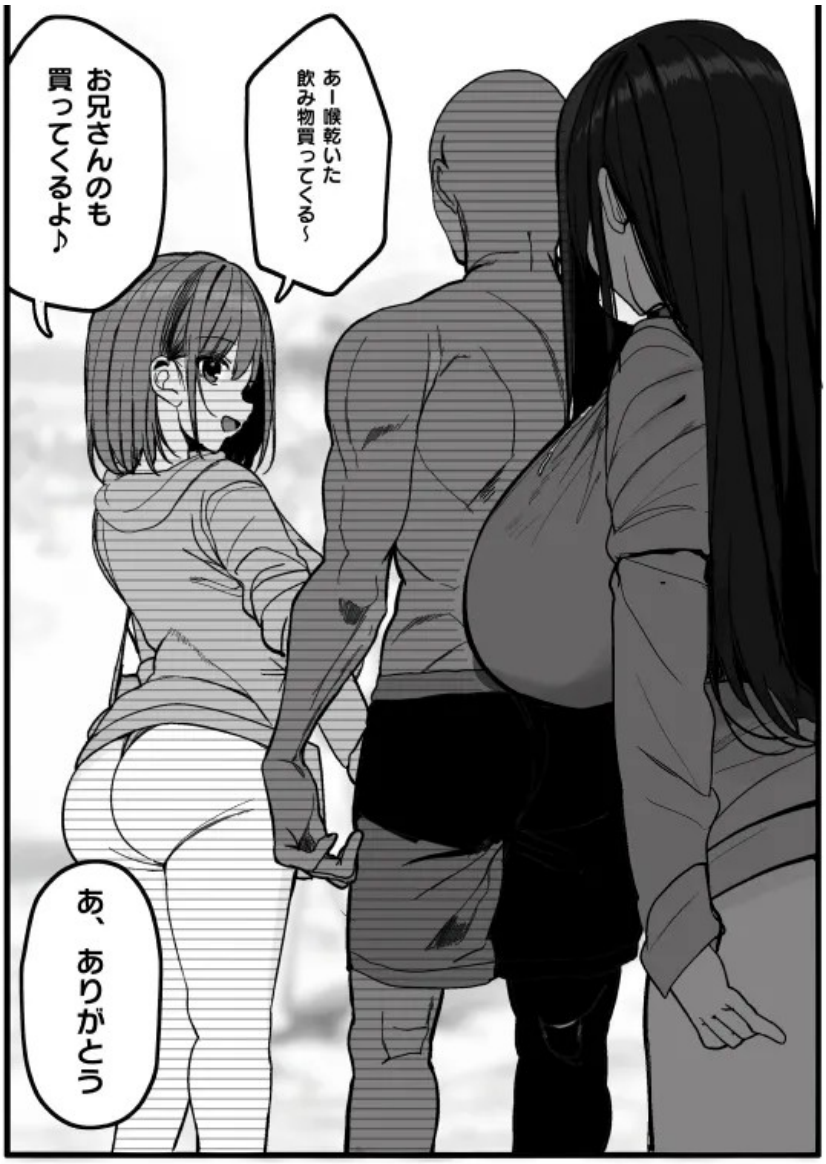
次は私の番ですよお兄さん♥
はぁ♥
はぁ♥
ああ…
よいしょ
わっお兄さん力もち♥
ふふっ…気持ちいい？
ぱん♥
ぱんっ♥
ぱんっ♥
ずぶぶぶぶっ♥
ロオーン
ちゃんと、私の中で…感じてくれてますか？
きゅうぅっ♥
ハ♥
ハ♥
ハ♥
ハ♥
ムチッ
ぉ♥ぉ♥ぉ♥
オグッ
オグッ
オグッ
オグッ
ヴク
ヴク
ぉ♥ぉ♥ぉ♥
ぉ♥
ぉ♥

背中痛くない？
んここ平らだから大丈夫です…
そんなことよりお兄さん
んっ？
んっ
キス…お兄さんとキス♥

ほーらお兄さん♥
がんばったおちんちんに
二人でご褒美あげる♥
うぅっ
やばいっ
フーッ♥フーッ♥
フーッ♥フーッ♥
お兄さん我慢してる顔
キモイですね…
ほら射精射精
びゅーびゅー♥
シコシコシコ♥
シコシコシコ♥
シコシコシコ♥
シコシコシコ♥
シコシコシコ♥
シコシコシコ♥
ビクッ
ビクッ
ぎゅうう
ぎゅっ
ぎゅっ
なかなか
でないですね
じゃあ…♥

お兄さんどう？♥
姉妹ふたりの
むちむちおまんこで
包まれてる感じは？
気持ちいいっ
ズリュリュリュ
ぬおお…
ちゅぱっ
ずりゅ
ずりゅ
とろぉ～～ぐ♡
こんなのすぐ
射精するッ
んっ
んッ
おまんこに
はいってきてる…
どっちが妊娠
しちゃうんだろうね♥
したら…
ゆるるる

責任とってくださいね…♥


あー喉乾いた
飲み物買ってくる～
お兄さんのも
買ってくるよ♪
あ、ありがとう

心配だから
俺も行ってくるよ
分かりました
先に着替えて来ます
シャワー浴びたいですし…

まもりさん～
ちょっとまって！

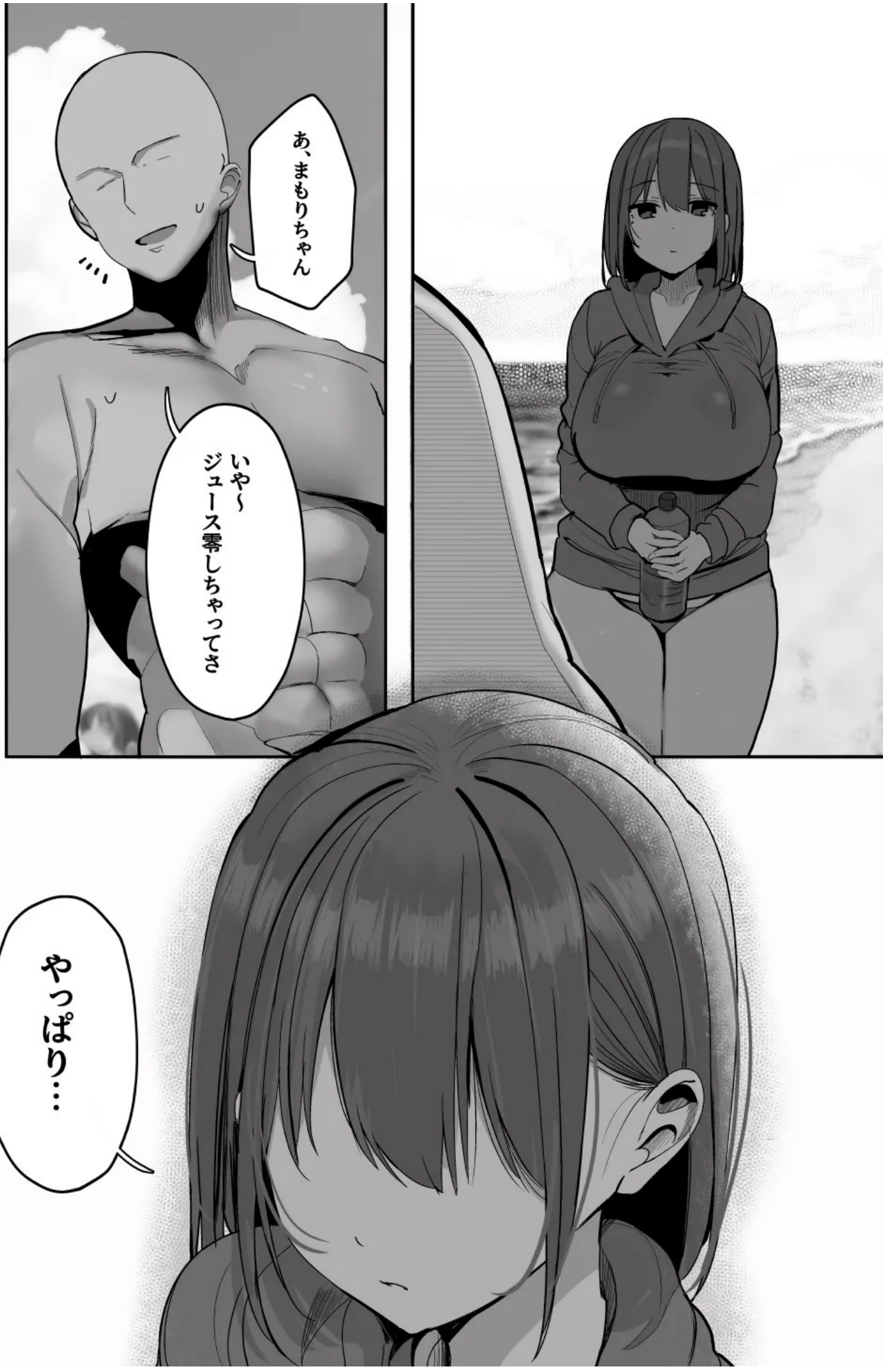
スタスタ
ハァ…

ねぇねぇ

も、もう戻ってきたんですか
お兄い…
でっかいおっぱいのねえちゃん〜俺らといいことしない？
キゴゴ
はぁ…
あの…やめてください
自信あるんだよねどうかな〜
ワイ
む〜
ワイ
ガシッ
や、やめて
なぁ無視してんじゃねえよ…
さわって確かめてみろよ
ゴゴゴ
いいじゃん♪いいじゃん♪
ちっ力強い…

ドバッ
何を教えてくれるんだ？
あ～なにしてんだ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
てめ…っ
たら
フンッ
いえいえ
い、いこうぜきみわりぃ
あぁぁ…

すいません、ありがとうございました…
いやいや～
飲み物かけたぐらいで逃げ出すなんてな～
あっ私買ってきます…
いや、いいって
だめですから


あ、まもりちゃん
いや～
ジュース零しちゃってさ
やっぱり…

やっぱりお兄さんには
私1人を選んで欲しいな…

次回最終回かも…!!

あとがき

ここまで読んでくれてありがとうございます！
いよいよ種沢姉妹物語も次回で最終回かな…！
お兄さんはどちらを選ぶのか…はたまた！

次のページからはFANZA用に描き下ろした
イラストになります！
お楽しみいただけたらうれしいです～！

描いた人：ろうか

手伝ってくれた人：さかなくしゅん
おやすみまん

ありがと～!!
感謝しかねえ

「……これを着ろと仰ったのは、お兄さんですよね？」
「正直に言えば……とても着たくはありませんでした。ですが……命令でしたので」
「……視線がいやらしすぎます。気持ち悪い」
フッ
フッ
もじ
もじ

「……はぁ……。やっぱり変態ですね。お兄さんって」
「……でも。……その、少しくらいなら……喜んでいただけるのも、悪くない……かもしれません」
「だから……今日は、特別に……少しだけ、従ってあげます。……覚悟、なさってくださいね？」
はぁ…
もじ
もじ

「…っ、な、なんですか
この体勢……いきなり脚を持ち上げるなんて……」
「っ……はぁ……この角度
……奥まで、ずんずん当たって……」
ぎゅ～

「……これも、命令……ですから。
わたしに拒否権など……最初からないのでしょう？」
「……っ、はぁ……っ。ちょっと……休ませていただけませんか
……これは……さすがに……っ」
パンッ
ぱんっ
パンッ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡

ドゥ♡ッ
ん♡ッ
ドゥ♡ッ
ビュ～～ッ

「やっぱりこれ、エッチすぎたかなぁ……」
「だって！だってね？可愛いって思ったんだもん！
ピンクでキラキラで、胸のとこもギリギリでさ
……こういうの、お兄さん好きだよね？」
むわぁ♡
ムチ♡
ムチ♡

「うぅぅ、でも…めちゃくちゃ視線感じる……は、恥ずかしい……っ」
「はぁ～…でも、もう脱がないからね？
これ着るのめっちゃ勇気出したんだから！」
「よーしっ、今日は…がんばっちゃうからね♡」

「んふふっ……♡ 今日はえっちなビキニを着たわたしが…いっぱい気持ちよくしてあげるね？」
「ううん、大丈夫。ちゃんとリードしてあげるから。優しく、ゆっくり、おまんこでぎゅ～って……ね？」
「……はぁ……はぁ♡ ねぇ、見てくれてる？わたしのこと……ちゃんと感じてくれてる？」
ぽんっ
ぽんっ♡
ぽんっ♡
ぽんっ♡
ぎゅ～♡

「汗…すごい？ふふっ、もうドキドキが止まらなくて……全部おまんこごしで伝わっちゃってるね……♡」
「ねぇ……もっといっぱい甘えて？ぜんぶ、わたしに中にいれていいよ……っ♡」
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡

いっぱいトクトクしてる♥
びゅるるる〜

「……また、こういう格好をお望みですか」
「…バニー……ですか。まったく、趣味がよくわかりません……」
「……本当に……恥ずかしいのですが。
……この服、胸のサイズ……まるで合っていませんし……」
フーッ
フーッ
たぷっ
たぷっ

「……でも。命令でしたから。着用は、いたしました」
「……視線がいやらしいです。
あまり、じろじろ見ないでください。……本気で怒りますよ」
ムチ♡
ムチ♡
ムチ♡
ムチ♡

「……はぁ…まさかこんなことまでさせられるとは思っていませんでした」
「…ご要望であれば、仕方ありませんね」
アッ
アッ
アッ
アッ
むぎゅ～っ♡
ビクッ
ビクッ

「……わたしの身体で、満足いただけるのなら
…どうぞ、お好きに……」
「ほんと最低ですね…」
「ただし、これ以上……調子に乗られるようでしたら
本気で怒ります。ほらさっさと射精してください……」
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ

ん？…♥
どぴゅるるるる♥

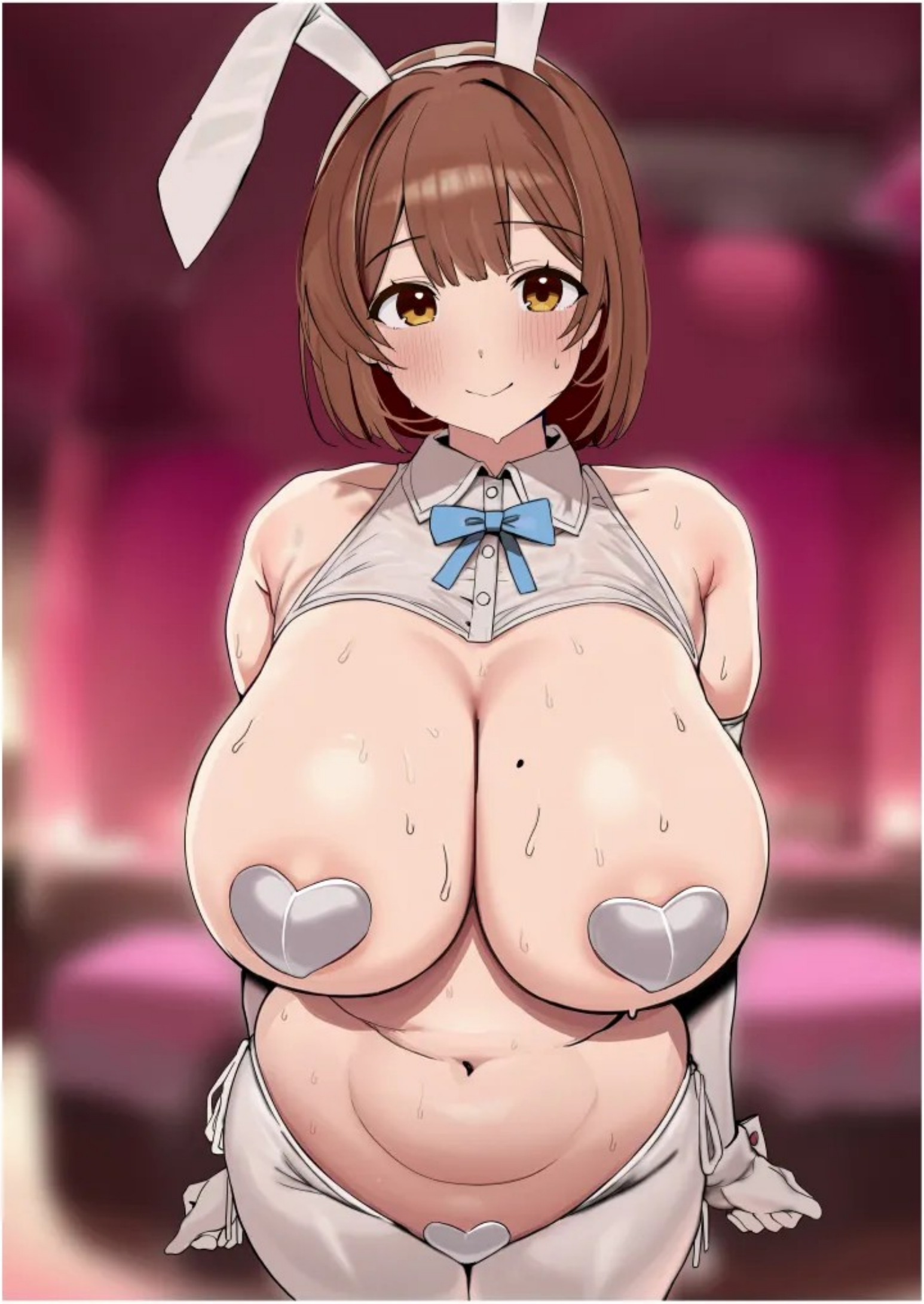
「あ、あのね……お兄さんっ……このバニー、どうかな？」
「ちょっと頑張って選んだんだけど
……やっぱり、こういうのって……恥ずかしいね……♡」
「……でも、今日は見てほしかったの。
ちゃんと……わたしのこと……♡」
ニヅッ
ムチ♡
たぷ
ムチ♡

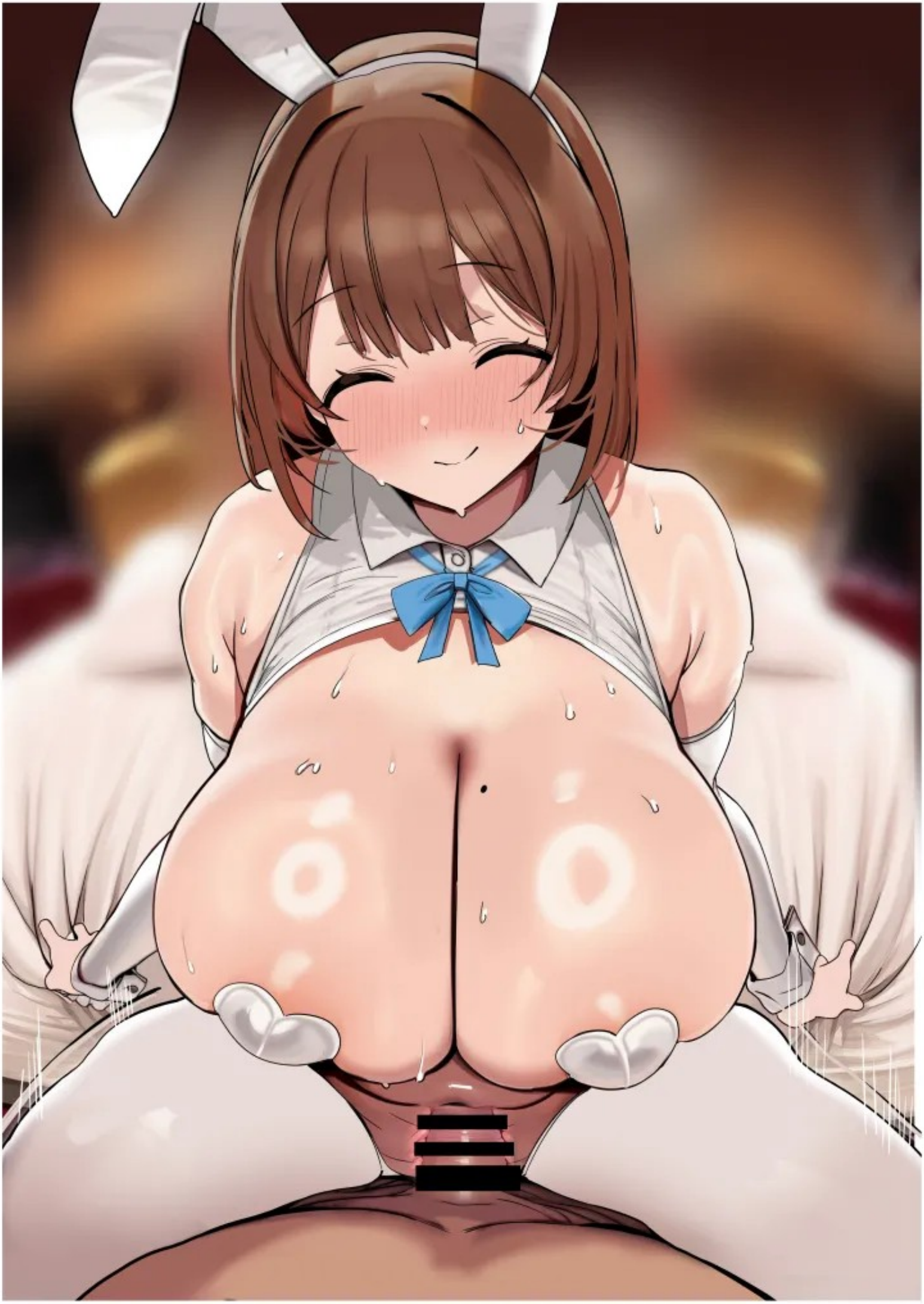
「……えへへ、その……こ、ここ……
ハートのシール……ずっと貼ってると
なんかムズムズしてきちゃって……」
「……ねぇ……やっぱり、剥がしてもらえないかな……？♡」
「お兄さんの手で……そっと……ね……♡」
あせっ
あせっ

「うん……大丈夫だよ…
…お兄さん、わたしの中でちゃんと気持ちよくなれてる…？」
「ふふっ……そんな顔しちゃって
かわいい♡ いっぱい頑張ってるね……♡」
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ぐぢぐぢ
ずぷぅぅぅ♡

「ねぇ、もう無理しなくていいよ？
そのまま、わたしの中に……ほら、ぴゅっぴゅっしていいんだよ？」
「ほら……おまんこぎゅーってしてあげる…♡」
「安心して、全部ゆだねてね……♡」
ハァハァ♡
ハァハァ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
じゅぽ
じゅぽ

わっ♥
レロレロ♥
レロレロ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ





「…これは、授業で使用している体操着です」
「なぜ、それを…こんな場所で着る必要があるのか、理解しかねます」
「……恥ずかしいという感情は、ありません。ただ――この服装のまま、こういう場にいることに……抵抗はあります」
フーッ
フーッ
フーッ
もわぁ…♡

「……命令でなければ、決して着ることはありませんでした。」
「……それでも、見たいとおっしゃるなら……勝手にすればいいでしょう。
視線の意味は、聞きません」

「ちょっと乱暴に突きすぎッですッ」
「ぬるい空気が肌にまとわりついて
生地が……貼りついて……最悪ですッッ」
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ズンッ

「……わたしは命令に従っているだけです。
それ以上の意味を、勝手に想像しないでください。」
「……こんなセックスッッ…もう少し、相手への敬意というものを
……持っていただきたいものですね。」
んッッほぉ
パンッッ
パンッッ
パンッッ

どぴゅるるるっ
「んっおっ♡♡♡♡♡♡♡」

「えへへっ……どう？　この体操着……本物っぽいでしょ？」
「実はね、今日のためにこっそり買ってきたんだ
コスプレって、ちょっと恥ずかしいかなって思ってたけど……」
「でも、お兄さんが喜んでくれるなら
がんばってみようって思って……♡」
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
たぷ♡
たぷ♡
たぷ♡
たぷ♡

ニヨッ♡
ハァ
ハァ
ハァ
「ちょっとキツい？胸のとこことか……
ピタッてしてて……はぁ、やっぱり恥ずかしい～っ！」
「……でも、ちゃんと見てね？…♡」
「ふたりきりのホテルで、コスプレなんて
こんなの、お兄さんにしか見せないんだから……♡」

「うふふ……いっぱい気持ちよくなってるの、わかるよ？」
「よしよし……いい子、だね♡
おちんちん頑張ってるの、ちゃんと伝わってるよ……」
「そんなに夢中になって
わたしのこと、好きすぎでしょお兄さん？」
フッ
フッ
おッ♡
おッ♡
おッ♡
ブルン♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡

「……んっ♡　奥までいっぱい当たってる
…でも、ぜんぶ受け止めてあげるから……」
「いっぱい、甘えて？　わたしが、おまんこぎゅーってして
ぎゅーって締めて……ぜんぶ、気持ちよくしてあげるから……♡」

「……はらぼてゅーっ♡」
ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡
お゛♡

「……これ、本当に着る意味があったのでしょうか」
「……胸が……きつくて、正直かなり圧迫感があります…。
破れたら、責任取ってくださいね」

「じろじろと、見ないでください。
恥ずかしい、などとは言いませんけど……視線が鬱陶しいです」
「……これで、満足したのでしたら。
早く終わらせてください。……長く着ていたくはないので」
フーッ フーッ
ハッ ハッ
パッ♡
パッ♡

「ほんとに……この体勢でいいんですか」
「べ、別に……嫌って言ってるわけじゃ、ありませんけど……」
「そんなに見つめないでください。
こっちは……こんな格好してるだけでも、精一杯なんですから」
フーッ フーッ
フーッ フーッ
ずぷぅ♡
ぐぐ♡
ぐぐ♡

「ほんとに……この体勢でいいんですか」
「べ、別に……嫌って言ってるわけじゃ、ありませんけど……」
「そんなに見つめないでください。
こっちは……こんな格好してるだけでも、精一杯なんですから」
フーッ フーッ
フーッ フーッ
ずぷぅ♡
ぐぐ♡

「えへへ……お兄さん、これ見たら喜ぶかな～って思って……持ってきちゃった♡」
「昔、着てた競泳水着
ちゃんと取ってあったんだよ？ ちょっと恥ずかしいけど……」
ひくっ
あ♡

「……やっぱり、胸のとこが、めちゃくちゃキツくてうう、動いたら破けそうかも……っ」
「でも……ねぇ？　こういうの、好きでしょ？
わたし、ちゃんと分かってるんだから……♡」
「今日はね、いっぱい甘えていいよ？
お兄さんがとろとろになるまで……わたしが、甘やかしてあげるから……♡」
ニヤ
ニヤ

「…んっ、ちょっと胸掴むの強いかも
でも……大丈夫だよ♡」
フーッ♡
フーッ♡
「お兄さん、がんばってるもんね…
わたしのこと、いっぱい触ってくれて…嬉しい♡」
フーッ♡ フーッ♡
ずぷぷぷっ
ぎゅうううう♡

「こうしてると…ほんとに、大好きって気持ちが伝わってきて
胸がきゅーってなるの」
「だから…いいよ？
わたしでいっぱい気持ちよくなって…♡」
「ぜんぶ、受け止めてあげるから
安心しておっぱいとおまんこに甘えて……ね？♡」
ずぷ
ずぷ

ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
ぎゅうう♡
うううう♡
イクっ♡